

「探究型学習」の学び方を考える(2)

開倫塾

塾長 林明夫

Q 1 : 「探究型学習」にスマホ(スマートフォン)やインターネット、チャットGPTは、どのように用いたらよいですか。

A : 「辞書・新聞・読書・図書館」と同じように、「スマホ・インターネット・チャット GPT」は、「探究型学習」にとっても役に立ちます。どんどん活用しましょう。ただし、是非していただきたいことがいくつかあります。



Q 2 : 例えば、どのようなことでしょうか。

A : (1) 一番行っていただきたいのは、スマホなどで次から次に「語句」「言葉」を調べる前に、予め「ノート」に「書く」「明記」「メモ」することです。
(2) 調べる前には、面倒がらず、その語句を一語一語ノートに「メモ」してから調べてください。
(3) ほとんどの人は、知りたいことを次から次にスマホなどで調べますが、スマホに熱中し過ぎると、何を調べたかを忘れることもあるからです。
(4) 「スマホなどで調べる語句は、調べる直前に、必ずノートに書いてから調べること」が大切です。
(5) これを、皆さんの「学習習慣」の一つに、是非加えてください。
○必ず、あとで役に立ちます。



Q 3 : そのほかにありますか。

A : (1) スマホなどで調べたことは、全部でなくてもよいですから、大事なことだけでも「ノートに書き写す」ことです。
(2) 特に、ノートに書き写した方がよいのは、「語句」「言葉」の「意味」「定義」です。
(3) 調べた言葉の「意味」、これはこのような意味なのだという、その言葉の「定義」ほど大切なものではありません。
(4) スマホやチャット GPT で言葉の意味や語句を調べたときは、調べっ放しにしないこと。その意味や定義を、ノートに必ず書き写しましょう。
(5) 大切なことだけで OK ですから、調べたことは「ノートに書き写す」。
(6) これも、皆さんの「学習習慣」として加えてください。
(7) そのノートは、あとでみんなで議論したり、中間発表や最終発表をしたりするときに役に立ちます。

Q 4 : スマホやチャットGPTに出ている内容は、すべて正しいのですか。

- A : (1) 内容が正しいかどうかは、自分の力で判断する以外にはありません。
- (2) スマホに出ていることは、「一つの意見の表明」「このような考え・捉え方もあるのか」と、考えた方がよい内容もたくさんあります。
- (3) ですから、スマホやチャット GPT などを用いるときに一番大切なのは、「批判的思考能力」です。
- (4) 「批判的思考能力」とは、この内容が正しいかどうかを、自分の力で批判的に考える力のことです。英語で、「critical thinking、クリティカル・シンキング」といいます。
- (5) 例えば、国語辞典、百科事典、新聞、論文、単行本など、どこからその情報を得たのか、出典が明記されている場合は、その内容が信頼できるかどうかを判断するときに役立ちます。



Q 5 : 最後に一言どうぞ。

- A : (1) 「探究型学習」である程度調べたら、「まとめノート」を作り、それまで調べたことをまとめることをお勧めします。
- (2) ①まずは、このテーマは本当は何が問題なのか・問題の本質は何か、問題の所在をはっきりさせる。
- ②次に、なぜこの問題が起きているのか、その原因を究明し、本当の理由は何かを考えまとめてみる。
- ③では、どうしたらよいかを考える。「応急措置」として何をどうすればよいかを考える。また、ゆくゆくはどのような仕組みを作ったらよいか、「制度変更」を考える。
- (3) 考えがまとまったら、中間発表、最終発表としてまとめる。発表したものを、世の中のために役立てたいと考え、学校以外でも発表する。区長さん、市長さん、町長さん、知事さん、議員さん、商工会議所・商工会・青年会議所の会長さんなどに、「提言書」として提出する。記者の皆様にもご説明すれば、取り上げてくれる場合もあります。
- (4) 興味・関心が尽きなければ、大学や専門学校、大学院に進学し、勉強を深める。海外で同じようなテーマを学ぶことができる大学や大学院があれば、留学も考える。
- (5) 学校を出たあとも、自分の仕事や社会的活動として、一生かけて「探究型学習」を続けることをお勧めします。
- (6) なぜこの問題が起きたのか、社会の仕組みを考え始めると、日本の歴史や世界の歴史まで遡らなければならず、興味が尽きません。
- (7) 小学校・中学校・高校・大学・専門学校・大学院など、学校時代に取り組んだ勉強を、一生かけて追い求める。素晴らしい人生だと考えます。ご挑戦ください！

